



m1

ネッビオーロ・プリマ 2011

nebbiolo prima

バローロ、バルバレスコ、ロエロ
新しいネッビオーロを利く

昨年新装して再スタートを切った「ネッビオーロ・プリマ」(旧アルパ・ワインズ・エキジション)。ことしも5月8日から13日にかけてアルパで開催された。その年に新しくリリースされるネッビオーロワイン(バローロ、バルバレスコ、ロエロ)をイタリアのワインガイド誌と世界のジャーナリストの試飲に供する催しである。ボルドー・プリムール・テイスティングをネッビオーロでもやれないものかと考えたアルベイス協会(エンツォ・プレッツァ会長)が1990年代半ばから始めたものだ。アルベイス協会は1973年にレナート・ラッティの提唱で組織された。ボルドー、ブルゴーニュのようにネッビオーロワインにも独特の瓶形を採用することで、市場にもっとアルパのワインを訴えようと、「アルベイス」ボトルにワインを詰めて共同プロモーションを始めたのだった。

アルベイス協会にはガヤ、ブルーノ・ジァコーサなど有名生産者のいくつかが参加していないので、「ネッビオーロ・プリマ」がランゲ・ネッビオーロの総体とはいえないが、この試飲でそれぞれのヴィンテージの特徴を掴むことはできる。なぜなら域内230もの生産者が出品

20 Sep. 2011 WANDS

するからだ。今年の試飲に供されたのはバローロ2007年(リゼルヴァ2005年)、バルバレスコ2008年(リゼルヴァ2006年)、ロエロ2008年(リゼルヴァ2007年)である。

バローロは2007年を試飲した。

2007年は「早なり」の年で収穫は9月後半に始まった。この年の気象条件でマイナスに働く要素は春先の激しい雹ぐらだったからだ。しかしこの降雪も自然の力で収量を抑えたともいえるわけで、品質的には病害によって収量が少なくなるよりはよほどいいと考えることができる。5月中旬までに開花し、ヴェレイゾンはあの酷暑の夏の2003年より早かった。ところが8月は涼しくて平年より雨が多かった。だから成熟スピードが夏になってやや落ち着いた格好だ。それでも9月中旬にネッビオーロの収穫は完了した。

収穫直前の涼しい気候のおかげで酸味がきれいに残り、果実味の構成がすばらしいものになった。試飲した感じでは2007年は比較的早い時期に飲み頃を迎えるヴィンテージだと思われる。ちなみにバローロ・リゼルヴァは

2005年産を試飲した。

一方、バルバレスコとロエロはバローロより1年若い2008年産を試飲した(リゼルヴァはバルバレスコ2006年産、ロエロ2007年産だった)。

2008年は9月に入ってから収穫までの天候が素晴らしい年だった。冬が穏やかだったので当初は葡萄の生育スピードの早い年かと思わせたが、春を迎えても気温は一向に上昇せず見通しはすっかり変わったものになった。5月と6月に雨が降り、ことに開花の時期にたくさん降ったがフルーツセット(結果)には大きな問題がなかった。ヴェレイゾンは8月に始まった。9月と10月は平年より気温が高く雨も降らなかった。10月初めから中旬にかけて収穫されたが、多くの生産者はバルベラより先にネッビオーロを掴むという極めて珍しい収穫になった。

その結果、2008年産はバランスがとてよくとれて長い熟成に耐えるものになった。試飲サンプルは全体に若すぎて固い。葡萄のタンニンとオーク樽由来のそれがまだ溶け込んでおらず、木肌を舐めているような感じのものも多

かった。現時点で判断するのは非常に難しいサンプルが多かった。

ネッピオーロ・プリマ 2011 のブラインド・テイスティングは 177 生産者の 305 サンプルを 5 日間かけて行なった。バローロ 168 本、バローロ・リゼルヴァ 24 本、バルバレスコ 78 本、バルバレスコ・リゼルヴァ 14 本、ロエロ 14 本、ロエロ・リゼルヴァ 13 本という内訳だった。その中で印象に残ったおいしいワインを下表にまとめた。

バローロ・バルバレスコ・アルバ・ランゲロエロ生産者協会のピエトロ・ラッティ会長は、最近の生産者をとりまくトピックとワインの販売動向を解説した。

「まずは法律の改訂に関するニュースから。

2010 年産からバローロの搾汁率が 65% から 68% に引き上げられた。以前より増産できることになった。しかしこれはその他のイタリア DOC/DOCG ワインが 70% なのでもまだ厳しい水準を維持している。その結果、バローロの生産量が 2010 年に初めて 1200 万本に到達した。

もうひとつは葡萄畑拡張をわれわれ生産者の判断で行使できる権利を得たこと。当面は 40 歳未満の若手生産者で意欲的に葡萄栽培に取り組む人にこの権利を与えようと考えている。バローロは 1 年間 10ha (1 生産者あたり 1000m²)、バルバレスコは 3ha (1 生産者あたり 3000m²) の拡張ができる。

2010 年のワイン販売は最後の 3 か月で需要が急増し通年で 36% 増を記録した。この需

要増に引っ張られてバルクワイン取引価格が 2 倍に急騰している。域内の葡萄の取引は 60% がエステート・ボトルド、14% が協同組合に売却、26% が葡萄もしくはバルクワインとして売却されている。

ネッピオーロ・プリマの期間中のスケジュールは、ブラインド・テイスティングを午前中に行い、午後は各種セミナーや醸造所訪問に宛てている。ネッピオーロのテロワールに関する興味深いセミナーの概要と二つの醸造所を紹介する。

「バローロとバルバレスコのテロワール」についてマッテオ・モンキエッロが解説した。<ネッピオーロの特徴>

生産者名	クリュ名	村名
DOCG バローロ 2007		
Elvio Cogno	"Ravera"	Novello
Famiglia Anselma	"Famiglia Anselma"	Barolo, Monforte d'Alba, Serralunga d'Alba
Bosco Agostino	"Neirane"	Verduno
Bric Cenciurio	-	Barolo
Vajra / G.D. Vajra	"Albe"	Barolo
Cascina Adelaide	"Preda"	Barolo
Rinaldi Francesco e figli	"Cannubio"	Barolo
Pira di Chiara Boschis	"Cannubi"	Barolo
Marchesi di Barolo	"Sarmassa"	Barolo
Sobrero Francesco	"Ciabot Tanasio"	Castiglione Falletto
Giacomo Fenocchio Az. Agr.	"Villero"	Castiglione Falletto
Brovia Az. Agr.	"Rocche"	Castiglione Falletto
Francone	-	La Morra
Aurelio Settimo	-	La Morra
Marengo Mario Az. Agr.	-	La Morra
Renato Ratti	"Conca"	La Morra
Massimo Penna	-	La Morra
Cascina del Monastero	"Bricco Luciani"	La Morra
Silvano Bolmida	"Vigne dei Fantini"	Monforte d'Alba
Pecchenino	"San Giuseppe"	Monforte d'Alba
Monti	"Duemilasette"	Monforte d'Alba
Josetta Saffirio	"Persiera"	Monforte d'Alba
Podere Ruggeri Corsini	"San Pietro"	Monforte d'Alba
Manzone Giovanni	"Gramolere"	Monforte d'Alba
Alessandria Fratelli	"Gramolere"	Monforte d'Alba
Poderi Colla	"Dardi le Rose Bussia"	Monforte d'Alba
Barale Fratelli	"Bussia"	Monforte d'Alba

(...)